

第2回 米代川大規模氾濫に関する減災対策協議会（平成28年9月27日開催）

1. 議事概要

- 本協議会において、「米代川の減災に係る取組方針(案)」が審議され、承認された。
- 今後の協議会では、取り組みの進捗状況の確認やフォローアップを毎年出水期前に行うこととした。

2. 実施状況

日時：平成28年9月27日
会場：能代河川国道事務所 会議室
出席委員：能代市長
北秋田市長
大館市長(代理：危機管理課長)
鹿角市長(代理：副市長)
秋田県総務部危機管理監(代理：総合防災課長)
〃 建設部長(代理：河川砂防課長)
〃 山本地域振興局長
〃 北秋田地域振興局長
〃 鹿角地域振興局長(代理：建設部長)
秋田地方気象台長
能代河川国道事務所長 以上、11名



能代市長



北秋田市長



大館市・危機管理課長



鹿角市・副市長

3. 主な発言内容

能代市長

台風10号で、グループホームが浸水被害に遭い死者がでたことは、他人事ではないと認識させられた。今回の「取組方針」を踏まえ、自分たちの安全安心は自分たちで守るのだという意識が大事。「取組方針」の対応をしっかりとっていく必要がある。

北秋田市長

昭和47年や平成19年の大きな水害を経験しており、当時の記憶を忘れないようにするため、自主防災組織の立ち上げ等に力を入れている。現在は、気象観測や台風の進路予測の精度が上がり、タイムラインによる準備が出来る状況になった。住民目線で防災に当たっていくため、今回の「取組方針」を踏まえ、関係機関と連携し実施していきたい。

大館市・危機管理課長

平成25年9月洪水で被災した集落では、9月25日に自主的に防災訓練を実施している。今後も総合的な防災訓練を各地区で継続的に実施していきながら、「逃げ遅れない・備える・早期の回復」への対応について注力していきたい。

鹿角市・副市長

台風10号の際は、暗くなってからでは行動できないことを考え避難準備情報を発令した。結果的に台風の影響は無かったが、外れることを恐れてはいけなと改めて感じた。情報発信では、コミュニティーFM、防災ラジオ等の普及拡大など、「取組方針」をもとにさらに対策を強化していきたい。

